

京都府立医科大学附属北部医療センター

① 特徴

当施設は、昭和 28 年 9 月に京都府立与謝の海療養所の名称で結核患者の療養を目的に風光明媚な京都府丹後地方に開設された。昭和 36 年 7 月に京都府立与謝の海病院に改称され一般診療が開始、京都府北部地域の地域医療の中核施設として機能して来たが、平成 25 年 4 月からは京都府立医科大学附属北部医療センターとして開設され現在に至る。許可病床数 295 床、診療科目 21 である。京都府北部地域は遠隔地であり近隣に慢性痛治療施設はほとんど存在しないために、以前には人的余裕のある期間のみ一時的に常勤麻酔科医が疼痛診療を行って来たこともあった。平成 25 年からは京都府立医科大学麻酔科学教室から担当医が月 2 回ペインクリニック緩和医療外来診療に派遣され、充実した診療が継続的に行われている。集学的治療を目指して院内臨床心理士、院外リハビリテーションクリニック、遠隔地であるために容易意ではないがさらに専門的治療を進めるべく主に大阪方面の施設と連携を行なっている。

② 診療連携

合計 2 症例について、診療連携をした。以下に詳細を報告する。

関西医科大学心療内科

症例は 39 歳の中国人女性で主訴は右季肋部痛。'12 頃から右季肋部痛のため他病院で精査加療を受けていたが、'15.9 心気症の診断で当院精神科、消化器内科を紹介受診した。心窩部痛、腹部膨満もあったが、精査によっても器質的異常は認められず機能性胃腸炎の疑いで治療中であった。薬剤の効果は乏しく右肋間神経痛様の痛みも現れてきたために、'17.7 に消化器内科から当科を紹介され受診した。受診時、後頭部痛、嘔気、喉の違和感の訴えもあった。当科では主に面談を続けてきたが症状は改善せず、2 年ほど内服しているエチゾラムから離脱したいとの希望が出てきたので、診断、治療を目的として関西医科大学心療内科を紹介した。関西医科大学心療内科受診時の主訴は左季肋部痛、後頭部痛、喉の違和感であった。診察の結果、機能性担当オッディ括約筋障害、胃食道逆流症の疑いで外来加療を受けることになった。

千里山病院リハビリテーション科

症例は右足部外傷後遷延痛、モートン症候群の女性で、主訴は右足の痛み、運動機能障害である。仕事中に受傷し他病院で診療を受けていたが、痛みの原因は不明で軽減しなかった。'17.9.13 に当院整形外科を受診し上記と診断され、内服治療を受けて居たところ、2 ヶ月後に激痛の訴えがでたので、痛みの治療目的で当科を紹介された。心理社会的要因の関与もかなり考えられたために、薬物療法、心理療法を行い痛みは軽減した。今後リハビリを行って就労復帰したいとの希望があるために、千里山病院リハビリテーション科を紹介した。

③ 研修会

透析に関わる医師、看護師、臨床工学士などを対象に、特に腎不全患者における痛みの集学的治療の必要性を講演した。

平成 30 年 5 月 12 日、京都タワーホテルにて開催の京滋腎透析フォーラム 2018 で“透析患者と痛み”のタイトルで講演を行った。参加者は上記医療関係者 110 名であった。

④施設訪問

なし

④ その他

さらに遠隔地にある伊根診療所とも遠隔診療などを工夫し診療連携をするべく、計画を立てている。

他施設との連携を行いやすくする目的で、他施設ではすでに施行されている iPad による問診を行うために準備を行った。具体的にはイントラネットの構築、アプリのダウンロードなどを完了した。